

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	放送映画リテラシーF1（映像技術1）
科目基礎情報				
開設学科	放送芸術科	コース名		開設期 前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数 30時間
単位数	2単位	授業形態	講義	
教科書/教材	パワーポイントの投影画像を資料として配布する。毎回テーマを決めて映像作品(ドラマやドキュメンタリー等)を見せる。			
担当教員情報				
担当教員	笹本 崇	実務経験の有無・職種	有・映像編集業務	
学習目的				
身近な家電製品(DVDやブルーレイディスク)の技術から放送業界全般のテレビ、編集技術の基礎知識を学ぶ。 映像技術関係(主に映像・編集)の基礎知識を身に付ける。 またSONYの新商品内見会の紹介を取り入れ最新の技術に触れる機会を作る。				
到達目標				
放送業界で使われている技術の基礎を幅広く学び就職後に役立たせる。 自分の興味のある職種以外の技術を学ぶ事により、知らなかった事にも興味を持つ意識を付ける。				
教育方法等				
授業概要	テキストを毎回配布、重要ポイントを空欄にしてテキストに書き込み覚える 映像の視聴を交えながら重要ポイント理解する			
注意点	キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。 理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで 授業に参加することを求める。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。			
評価方法	種別	割合	備 考	
	試験・課題	80%	試験結果で評価する	
	小テスト	0%		
	レポート	0%		
	成果発表 (口頭・実技)	0%		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する	
授業計画（1回～15回）				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	CPRM+VR方式について	身近な家電製品(DVDやブルーレイディスクなど)に使われているコピー制御方式や録画方式を知る		
2回	DVDとブルーレイディスクについて	身近な家電製品(DVDやブルーレイディスクなど)に使われている技術やシステムの違いを理解する		
3回	モニターの種類(1)CRTと液晶テレビ	普段目にしているテレビが実際にどのような技術で画像表示されているのか特徴や違いを理解する		
4回	モニターの種類(2)プラズマと有機EL	普段目にしているテレビが実際にどのような技術で画像表示されているのか特徴や違いを理解する		
5回	ENGとENG機材の進化について	ENGで使用されてきたカメラやVTRの種類を歴史的観点から見てENG機材の技術の進化を理解する		
6回	SONY新商品内見会について	毎年6月に行なわれるSONY新商品内見会を分かりやすく解説して最新技術を理解する		
7回	FPUとSNGの伝送システムについて	中継システムのFPUとSNGの特徴と違いを理解する。またモバイル通信やライブ配信も理解する		
8回	映像コネクタの種類について	RCA、S端子、BNC、HDMIなど放送局や家庭用で使われている映像コネクタの種類を理解する		
9回	映像ケーブルの種類について	一般的に使用されている同軸ケーブルの種類や構造を理解する		
10回	映像信号の種類(1)コンポジット	映像信号のアナログコンポジットの特徴や構造を理解する		
11回	映像信号の種類(2)コンポーネント	映像信号のデジタルコンポーネントの特徴や構造を理解する		
12回	映像信号の種類(3)デジタルとアナログ	現在の主流であるデジタル信号の解説とレコードを例としたアナログ信号の特徴と違いを理解する		
13回	映像信号の種類(4)コンポーネント4:2:2	現行の放送機器に最も多く使用されているコンポーネント4:2:2方式を理解する		
14回	映像信号の種類(5)RGB4:4:4	これからの放送機器に使用されるRGB4:4:4方式を理解する		
15回	前期まとめ復習＆前期試験対策	前期の内容まとめと復習、前期試験対策講座で満点を目指す！		